

⑤イ 法人が作成しているエクセル形式の財務諸表に、直接勘定科目コードを設定しCSV形式データを作成する具体的な方法(Excel2013 を利用した場合)

勘定科目コードを使用したCSV形式データの具体的な作成方法について、以下のとおり説明します。

なお、CSV形式データを作成する場合は、掲載している「① CSV形式データ作成に当たっての留意事項」及び「⑤ニ CSV形式データのレコードの内容等」をご確認いただきますよう、お願いします。

No.	画面イメージ等	作成方法等																																																																																				
1	<p>法人が作成している財務諸表（貸借対照表）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>(単位:円)</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>貸借対照表</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>資産の部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>流動資産</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>現金及び預金</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>現金</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>普通預金</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>A普通預金</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>B普通預金</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>売掛金</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>有価証券</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>製品</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>貸倒引当金</td> <td>△ 1,000</td> </tr> </tbody> </table>		A	B			(単位:円)	1	貸借対照表		2	資産の部		3	流動資産		4	現金及び預金	3,000	5	現金	1,000	6	普通預金	2,000	7	A普通預金	1,000	8	B普通預金	1,000	9	売掛金	3,000	10	有価証券	4,000	11	製品	5,000	12	貸倒引当金	△ 1,000	<p>国税商事(株)を例に、「勘定科目コード(以下「コード」といいます。)」を使用した財務諸表(CSV形式データ)の作成方法を説明します。</p> <p>【基本情報】</p> <table border="1"> <tr> <td>法人名</td> <td>国税商事(株)</td> </tr> <tr> <td>事業年度(自)</td> <td>H31.4.1</td> </tr> <tr> <td>事業年度(至)</td> <td>R2.3.31</td> </tr> <tr> <td>業種</td> <td>一般商工業</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>貸借対照表</td> </tr> <tr> <td>データ形式</td> <td>エクセル形式</td> </tr> </table> <p>※勘定科目はエクセルの「A列」、金額は「B列」に記載。</p>	法人名	国税商事(株)	事業年度(自)	H31.4.1	事業年度(至)	R2.3.31	業種	一般商工業	種類	貸借対照表	データ形式	エクセル形式																														
	A	B																																																																																				
		(単位:円)																																																																																				
1	貸借対照表																																																																																					
2	資産の部																																																																																					
3	流動資産																																																																																					
4	現金及び預金	3,000																																																																																				
5	現金	1,000																																																																																				
6	普通預金	2,000																																																																																				
7	A普通預金	1,000																																																																																				
8	B普通預金	1,000																																																																																				
9	売掛金	3,000																																																																																				
10	有価証券	4,000																																																																																				
11	製品	5,000																																																																																				
12	貸倒引当金	△ 1,000																																																																																				
法人名	国税商事(株)																																																																																					
事業年度(自)	H31.4.1																																																																																					
事業年度(至)	R2.3.31																																																																																					
業種	一般商工業																																																																																					
種類	貸借対照表																																																																																					
データ形式	エクセル形式																																																																																					
2	<p>e-Tax ホームページ掲載の「勘定科目コード表」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>業種</th> <th>種別</th> <th>標準ラベル(日本語)</th> <th>冗長ラベル(日本語)</th> <th>勘定科目コード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般工業</td> <td>A</td> <td>資産の部</td> <td>資産の部(冗長ラベル)</td> <td>10A000010</td> </tr> <tr> <td>一般工業</td> <td>A</td> <td>流動資産</td> <td>流動資産(冗長ラベル)</td> <td>10A100010</td> </tr> <tr> <td>一般工業</td> <td>A</td> <td>現金及び預金</td> <td>現金及び預金</td> <td>10A100020</td> </tr> <tr> <td>一般工業</td> <td>A</td> <td>現金</td> <td>現金</td> <td>10A100030</td> </tr> <tr> <td>一般工業</td> <td>A</td> <td>普通預金</td> <td>普通預金</td> <td>10A100040</td> </tr> <tr> <td>一般工業</td> <td>A</td> <td>A普通預金</td> <td>A普通預金</td> <td>10A100050</td> </tr> <tr> <td>一般工業</td> <td>A</td> <td>B普通預金</td> <td>B普通預金</td> <td>10A100060</td> </tr> <tr> <td>一般工業</td> <td>A</td> <td>売掛金</td> <td>売掛金</td> <td>10A100090</td> </tr> <tr> <td>一般工業</td> <td>A</td> <td>有価証券</td> <td>有価証券</td> <td>10A100230</td> </tr> <tr> <td>一般工業</td> <td>A</td> <td>製品</td> <td>製品</td> <td>10A100310</td> </tr> <tr> <td>一般工業</td> <td>A</td> <td>貸倒引当金</td> <td>貸倒引当金</td> <td>10A101050</td> </tr> </tbody> </table>	業種	種別	標準ラベル(日本語)	冗長ラベル(日本語)	勘定科目コード	一般工業	A	資産の部	資産の部(冗長ラベル)	10A000010	一般工業	A	流動資産	流動資産(冗長ラベル)	10A100010	一般工業	A	現金及び預金	現金及び預金	10A100020	一般工業	A	現金	現金	10A100030	一般工業	A	普通預金	普通預金	10A100040	一般工業	A	A普通預金	A普通預金	10A100050	一般工業	A	B普通預金	B普通預金	10A100060	一般工業	A	売掛金	売掛金	10A100090	一般工業	A	有価証券	有価証券	10A100230	一般工業	A	製品	製品	10A100310	一般工業	A	貸倒引当金	貸倒引当金	10A101050	<p>【手順1：勘定科目コードの検索】</p> <p>e-Tax ホームページに掲載している「勘定科目コード表(以下「コード表」といいます。)」をご確認いただき、各勘定科目に対応するコードを検索します。</p> <p>検索した結果、複数のコードがある場合は、コード表の「冗長ラベル(日本語)」、「タイトル項目(冗長ラベル)」及び「合計(用途区分)」等を参照し、コードを選択してください。</p> <p>なお、検索に当たっては、23 業種の中から1つのコード表を選択の上、コードを検索してください。</p> <p>(注) 作成した財務諸表種類以外のコード表からコードの検索はしないでください。</p>																								
業種	種別	標準ラベル(日本語)	冗長ラベル(日本語)	勘定科目コード																																																																																		
一般工業	A	資産の部	資産の部(冗長ラベル)	10A000010																																																																																		
一般工業	A	流動資産	流動資産(冗長ラベル)	10A100010																																																																																		
一般工業	A	現金及び預金	現金及び預金	10A100020																																																																																		
一般工業	A	現金	現金	10A100030																																																																																		
一般工業	A	普通預金	普通預金	10A100040																																																																																		
一般工業	A	A普通預金	A普通預金	10A100050																																																																																		
一般工業	A	B普通預金	B普通預金	10A100060																																																																																		
一般工業	A	売掛金	売掛金	10A100090																																																																																		
一般工業	A	有価証券	有価証券	10A100230																																																																																		
一般工業	A	製品	製品	10A100310																																																																																		
一般工業	A	貸倒引当金	貸倒引当金	10A101050																																																																																		
3	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>(単位:円)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>貸借対照表</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>資産の部</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10A000010</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>流動資産</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10A100010</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>現金及び預金</td> <td>3,000</td> <td></td> <td></td> <td>10A100020</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>現金</td> <td>1,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>普通預金</td> <td>2,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>A普通預金</td> <td>1,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>B普通預金</td> <td>1,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>売掛金</td> <td>3,000</td> <td></td> <td></td> <td>10A100090</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>有価証券</td> <td>4,000</td> <td></td> <td></td> <td>10A100230</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>製品</td> <td>5,000</td> <td></td> <td></td> <td>10A100310</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>貸倒引当金</td> <td>△ 1,000</td> <td></td> <td></td> <td>10A101050</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	E			(単位:円)				1	貸借対照表					2	資産の部				10A000010	3	流動資産				10A100010	4	現金及び預金	3,000			10A100020	5	現金	1,000				6	普通預金	2,000				7	A普通預金	1,000				8	B普通預金	1,000				9	売掛金	3,000			10A100090	10	有価証券	4,000			10A100230	11	製品	5,000			10A100310	12	貸倒引当金	△ 1,000			10A101050	<p>【手順2：勘定科目コードの設定】</p> <p>ここでは、23 業種のうち「一般商工業」を選択した場合を説明します。</p> <p>「手順1」で検索した「コード」を、「E列」に設定してください。</p> <p>(注) 同じコードを重複して設定しないでください。</p> <p>なお、「C列」には「行区分(手順3)」を、「D列」には「階層番号(手順4)」を設定します。</p>
	A	B	C	D	E																																																																																	
		(単位:円)																																																																																				
1	貸借対照表																																																																																					
2	資産の部				10A000010																																																																																	
3	流動資産				10A100010																																																																																	
4	現金及び預金	3,000			10A100020																																																																																	
5	現金	1,000																																																																																				
6	普通預金	2,000																																																																																				
7	A普通預金	1,000																																																																																				
8	B普通預金	1,000																																																																																				
9	売掛金	3,000			10A100090																																																																																	
10	有価証券	4,000			10A100230																																																																																	
11	製品	5,000			10A100310																																																																																	
12	貸倒引当金	△ 1,000			10A101050																																																																																	

No.	画面イメージ等	作成方法等
-----	---------	-------

【参考】 使用している勘定科目が、選択した業種の「コード表」にない場合

法人が作成した財務諸表に、「現金」、「普通預金」、「A普通預金」及び「B普通預金」等、独自の勘定科目を使用している場合は、以下の手順よりコードの設定を行ってください。

「現金」及び「普通預金」の勘定科目コードを設定する場合

	A	B	C	D	E	F
1		(単位:円)				
2	貸借対照表					
3	資産の部				10A000010	
4	流動資産				10A100010	
5	現金及び預金	3,000			10A100020	
6	現金	1,000			10A100020-1	
7	普通預金	2,000			10A100020-2	
8	A普通預金	1,000				
9	B普通預金	1,000				

① 「現金及び預金」のコード「10A100020」をコピーし、「現金」及び「普通預金」のそれぞれの「E列」に貼り付けてください。

② 「現金」に貼り付けたコード「10A100020」に枝番を付して「10A100020-1」とし、同様に「普通預金」は「10A100020-2」としてください。

さらに内訳として、「A普通預金」及び「B普通預金」の勘定科目コードを設定する場合

	A	B	C	D	E	F
1		(単位:円)				
2	貸借対照表					
3	資産の部				10A000010	
4	流動資産				10A100010	
5	現金及び預金	3,000			10A100020	
6	現金	1,000			10A100020-1	
7	普通預金	2,000			10A100020-2	
8	A普通預金	1,000			10A100020-2-1	
9	B普通預金	1,000			10A100020-2-2	
10	売掛金	3,000			10A100090	

③ 上記②で設定した「普通預金」のコード「10A100020-2」をコピーし、「A普通預金」及び「B普通預金」のそれぞれの「E列」に貼り付けてください。

④ 「A普通預金」に貼り付けたコード「10A100020-2」に枝番を付して「10A100020-2-1」とし、同様に「B普通預金」は「10A100020-2-2」としてください。

4	A	B	C	D	E
1		(単位:円)			
2	貸借対照表				
3	資産の部		T		10A000010
4	流動資産		T		10A100010
5	現金及び預金	3,000	1		10A100020
6	現金	1,000	1		10A100020-1
7	普通預金	2,000	1		10A100020-2
8	A普通預金	1,000	1		10A100020-2-1
9	B普通預金	1,000	1		10A100020-2-2
10	売掛金	3,000	1		10A100090
11	有価証券	4,000	1		10A100230
12	製品	5,000	1		10A100310
13	貸倒引当金	△ 1,000	1		10A101050

【手順3：「行区分」の設定】

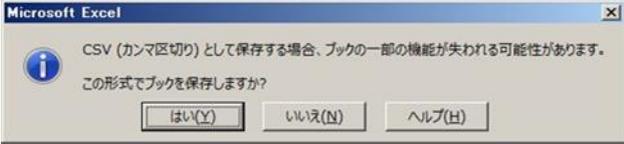
コードの行区分を「C列」に設定してください。
 なお、「タイトル項目※」は「T」、「B列」に金額(数値)を記録する場合は「1」、文字を記録する場合は「2」を半角で設定してください。

※ タイトル項目とは、「コード表」内の「タイトル項目(冗長ラベル)」欄に「O」が付されたコードのことをいいます。

なお、タイトル項目の場合、「B列」に金額(数値)及び文字は設定しないでください。

No.	画面イメージ等	作成方法等																																																																																																																																																
5	<p>(CSV 形式データ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3</td><td>資産の部</td><td></td><td>T</td><td>2</td><td>10A000010</td></tr> <tr><td>4</td><td>流動資産</td><td></td><td>T</td><td>3</td><td>10A100010</td></tr> <tr><td>5</td><td>現金及び預金</td><td>3000</td><td>1</td><td>4</td><td>10A100020</td></tr> <tr><td>6</td><td>現金</td><td>1000</td><td>1</td><td>5</td><td>10A100020-1</td></tr> <tr><td>7</td><td>普通預金</td><td>2000</td><td>1</td><td>5</td><td>10A100020-2</td></tr> <tr><td>8</td><td>A普通預金</td><td>1000</td><td>1</td><td>6</td><td>10A100020-2-1</td></tr> <tr><td>9</td><td>B普通預金</td><td>1000</td><td>1</td><td>6</td><td>10A100020-2-2</td></tr> <tr><td>10</td><td>売掛金</td><td>3000</td><td>1</td><td>4</td><td>10A100090</td></tr> <tr><td>11</td><td>有価証券</td><td>5000</td><td>1</td><td>4</td><td>10A100230</td></tr> <tr><td>12</td><td>製品</td><td>4000</td><td>1</td><td>4</td><td>10A100310</td></tr> <tr><td>13</td><td>貸倒引当金</td><td>-1000</td><td>1</td><td>4</td><td>10A101050</td></tr> </tbody> </table> <p>(帳票表示イメージ)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">貸借対照表</th></tr> <tr><th colspan="2">資産の部</th></tr> <tr><th colspan="2">流動資産</th></tr> <tr><td>現金及び預金</td><td>3,000</td></tr> <tr><td>現金</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>普通預金</td><td>2,000</td></tr> <tr><td> A普通預金</td><td>1,000</td></tr> <tr><td> B普通預金</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>売掛金</td><td>3,000</td></tr> <tr><td>有価証券</td><td>5,000</td></tr> <tr><td>製品</td><td>4,000</td></tr> <tr><td>貸倒引当金</td><td>△ 1,000</td></tr> </thead></table>		A	B	C	D	E	3	資産の部		T	2	10A000010	4	流動資産		T	3	10A100010	5	現金及び預金	3000	1	4	10A100020	6	現金	1000	1	5	10A100020-1	7	普通預金	2000	1	5	10A100020-2	8	A普通預金	1000	1	6	10A100020-2-1	9	B普通預金	1000	1	6	10A100020-2-2	10	売掛金	3000	1	4	10A100090	11	有価証券	5000	1	4	10A100230	12	製品	4000	1	4	10A100310	13	貸倒引当金	-1000	1	4	10A101050	貸借対照表		資産の部		流動資産		現金及び預金	3,000	現金	1,000	普通預金	2,000	A普通預金	1,000	B普通預金	1,000	売掛金	3,000	有価証券	5,000	製品	4,000	貸倒引当金	△ 1,000	<p>【手順4：「階層番号」の設定】</p> <p>勘定科目の「階層番号※」を「D列」に設定してください。</p> <p>階層番号は、<u>1つ上の行に記録した勘定科目の階層番号より大きい数字を設定する場合は、2以上大きな数字を設定しないでください</u>（小さい数字を設定する場合は、2以上小さい数字を設定していただいても差し支えありません。また、同じ数字を設定していただいても差し支えありません。）。</p> <p>※ 「階層番号」については、XBR L変換後、帳票化した場合に、勘定科目が表示される列に反映します。</p> <p>○正しい設定例</p> <table border="1"> <tbody> <tr><td>流動資産</td><td></td><td>T</td><td>3</td></tr> <tr><td>現金及び預金</td><td>6,000</td><td>1</td><td>4</td></tr> </tbody> </table> <p>1つ大きな数字を設定</p> <p>○誤った設定例</p> <table border="1"> <tbody> <tr><td>流動資産</td><td></td><td>T</td><td>3</td></tr> <tr><td>現金及び預金</td><td>6,000</td><td>1</td><td>5</td></tr> </tbody> </table> <p>2つ大きな数字を設定</p>	流動資産		T	3	現金及び預金	6,000	1	4	流動資産		T	3	現金及び預金	6,000	1	5																																
	A	B	C	D	E																																																																																																																																													
3	資産の部		T	2	10A000010																																																																																																																																													
4	流動資産		T	3	10A100010																																																																																																																																													
5	現金及び預金	3000	1	4	10A100020																																																																																																																																													
6	現金	1000	1	5	10A100020-1																																																																																																																																													
7	普通預金	2000	1	5	10A100020-2																																																																																																																																													
8	A普通預金	1000	1	6	10A100020-2-1																																																																																																																																													
9	B普通預金	1000	1	6	10A100020-2-2																																																																																																																																													
10	売掛金	3000	1	4	10A100090																																																																																																																																													
11	有価証券	5000	1	4	10A100230																																																																																																																																													
12	製品	4000	1	4	10A100310																																																																																																																																													
13	貸倒引当金	-1000	1	4	10A101050																																																																																																																																													
貸借対照表																																																																																																																																																		
資産の部																																																																																																																																																		
流動資産																																																																																																																																																		
現金及び預金	3,000																																																																																																																																																	
現金	1,000																																																																																																																																																	
普通預金	2,000																																																																																																																																																	
A普通預金	1,000																																																																																																																																																	
B普通預金	1,000																																																																																																																																																	
売掛金	3,000																																																																																																																																																	
有価証券	5,000																																																																																																																																																	
製品	4,000																																																																																																																																																	
貸倒引当金	△ 1,000																																																																																																																																																	
流動資産		T	3																																																																																																																																															
現金及び預金	6,000	1	4																																																																																																																																															
流動資産		T	3																																																																																																																																															
現金及び預金	6,000	1	5																																																																																																																																															
6	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>A</td><td>BS</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>B</td><td>国税商事株式会社</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>C1</td><td>2019-04-01</td><td></td><td></td><td>入力不要箇所</td></tr> <tr><td>4</td><td>C2</td><td>2020-03-31</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>貸借対照表</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>資産の部</td><td></td><td>T</td><td>2</td><td>10A000010</td></tr> <tr><td>7</td><td>流動資産</td><td></td><td>T</td><td>3</td><td>10A100010</td></tr> <tr><td>8</td><td>現金及び預金</td><td>3,000</td><td>1</td><td>4</td><td>10A100020</td></tr> <tr><td>9</td><td>現金</td><td>1,000</td><td>1</td><td>5</td><td>10A100020-1</td></tr> <tr><td>10</td><td>普通預金</td><td>2,000</td><td>1</td><td>5</td><td>10A100020-2</td></tr> <tr><td>11</td><td> A普通預金</td><td>1,000</td><td>1</td><td>6</td><td>10A100020-2-1</td></tr> <tr><td>12</td><td> B普通預金</td><td>1,000</td><td>1</td><td>6</td><td>10A100020-2-2</td></tr> <tr><td>13</td><td>売掛金</td><td>3,000</td><td>1</td><td>4</td><td>10A100090</td></tr> <tr><td>14</td><td>有価証券</td><td>4,000</td><td>1</td><td>4</td><td>10A100230</td></tr> <tr><td>15</td><td>製品</td><td>5,000</td><td>1</td><td>4</td><td>10A100310</td></tr> <tr><td>16</td><td>貸倒引当金</td><td>△ 1,000</td><td>1</td><td>4</td><td>10A101050</td></tr> <tr><td>17</td><td>流動資産</td><td>14,000</td><td>1</td><td>3</td><td>10A101160</td></tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	E	1	A	BS				2	B	国税商事株式会社				3	C1	2019-04-01			入力不要箇所	4	C2	2020-03-31				5	貸借対照表					6	資産の部		T	2	10A000010	7	流動資産		T	3	10A100010	8	現金及び預金	3,000	1	4	10A100020	9	現金	1,000	1	5	10A100020-1	10	普通預金	2,000	1	5	10A100020-2	11	A普通預金	1,000	1	6	10A100020-2-1	12	B普通預金	1,000	1	6	10A100020-2-2	13	売掛金	3,000	1	4	10A100090	14	有価証券	4,000	1	4	10A100230	15	製品	5,000	1	4	10A100310	16	貸倒引当金	△ 1,000	1	4	10A101050	17	流動資産	14,000	1	3	10A101160	<p>【手順5：「必須項目」の設定】</p> <p>「⑤ニ CSV形式データのレコードの内容等」に基づき、「必須項目」を「1行目」から「5行目」に設定してください。</p> <p>なお、「1行目」から「5行目」については「基本情報」以外のデータは削除してください。</p> <p>○「基本情報」の設定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A列</th> <th>B列</th> <th>C列</th> <th>D列</th> <th>E列</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1行</td><td>A</td><td>BS</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2行</td><td>B</td><td>国税商事株式会社</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3行</td><td>C1</td><td>2019-04-01</td><td></td><td></td><td>入力不要箇所</td></tr> <tr><td>4行</td><td>C2</td><td>2020-03-31</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5行</td><td>貸借対照表</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(注1) 赤線枠内は「半角文字」で、緑線枠内は「全角文字」で設定してください。</p> <p>(注2) 上記「B列3、4行目」については、表示形式を「文字列」に設定してください。</p>		A列	B列	C列	D列	E列	1行	A	BS				2行	B	国税商事株式会社				3行	C1	2019-04-01			入力不要箇所	4行	C2	2020-03-31				5行	貸借対照表				
	A	B	C	D	E																																																																																																																																													
1	A	BS																																																																																																																																																
2	B	国税商事株式会社																																																																																																																																																
3	C1	2019-04-01			入力不要箇所																																																																																																																																													
4	C2	2020-03-31																																																																																																																																																
5	貸借対照表																																																																																																																																																	
6	資産の部		T	2	10A000010																																																																																																																																													
7	流動資産		T	3	10A100010																																																																																																																																													
8	現金及び預金	3,000	1	4	10A100020																																																																																																																																													
9	現金	1,000	1	5	10A100020-1																																																																																																																																													
10	普通預金	2,000	1	5	10A100020-2																																																																																																																																													
11	A普通預金	1,000	1	6	10A100020-2-1																																																																																																																																													
12	B普通預金	1,000	1	6	10A100020-2-2																																																																																																																																													
13	売掛金	3,000	1	4	10A100090																																																																																																																																													
14	有価証券	4,000	1	4	10A100230																																																																																																																																													
15	製品	5,000	1	4	10A100310																																																																																																																																													
16	貸倒引当金	△ 1,000	1	4	10A101050																																																																																																																																													
17	流動資産	14,000	1	3	10A101160																																																																																																																																													
	A列	B列	C列	D列	E列																																																																																																																																													
1行	A	BS																																																																																																																																																
2行	B	国税商事株式会社																																																																																																																																																
3行	C1	2019-04-01			入力不要箇所																																																																																																																																													
4行	C2	2020-03-31																																																																																																																																																
5行	貸借対照表																																																																																																																																																	

No.	画面イメージ等	作成方法等
7		<p>【手順6：財務諸表データの加工】</p> <p>作成している財務諸表データを、「① CSV形式データ作成に当たっての留意事項」及び「⑤ニ CSV形式データのレコードの内容等」に沿うように加工してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ A列(勘定科目名) <ul style="list-style-type: none"> ・ 「空白」、「スペース」は適宜、「置換」等を使用して、削除してください。 ・ 半角文字の「,(カンマ)」を使用している場合は、全角文字の「,(カンマ)」に変更してください。 ○ B列(金額) <ul style="list-style-type: none"> ・ 半角文字の「,(カンマ)」を使用している場合は、セルの書式設定より、表示形式を「標準」に設定してください。 ・ 負の数値で「△」を使用している場合は、半角文字の「-(マイナス)」に変更してください。
8		<p>【手順7：CSV形式データの作成】</p> <p>作成した Excel データのファイルの種類を「CSV (カンマ区切り) (*.csv)」とし、CSV形式データを作成します。</p> <p>ファイル名は、次のとおりに設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財務諸表の種類ごとにCSVファイルを作成する場合は、「HOT010_3.0_財務諸表種類※」 <p>※ 財務諸表種類は半角文字で、BS、PL、SG、NT、SS、SE 及び SR で設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2種類以上の財務諸表を1つのCSVファイルで作成する場合は、「HOT010_3.0」 <p>なお、財務諸表種類又はバージョンの後ろに「_(アンダーバー)」を付すことで、任意の文字列も設定が可能です。</p> <p>(例) 任意の文字列の設定例(貸借対照表)</p> <p style="text-align: center;"> H O T 0 1 0 _ 3 . 0 _ B S _ 貸借対照表 . c s v </p> <p style="text-align: center;"> ↑ アルファベット 様式ID ↑ 半角数字 ↑ バージョン 財務諸表種類 ↑ 書式名等の任意の文字列 (設定は任意) </p> <p>(注) ファイル名全体で使用可能な最大文字数は、全角・半角合わせて125文字です。 (上記の例の場合は23文字)</p>

No.	画面イメージ等	作成方法等
9		<p>【手順 8 : CSV形式データの保存】</p> <p>保存の際に左記注意メッセージが表示されますが、「はい(Y)」をクリックして保存してください。</p> <p>なお、今回作成した Excel データを保管することで、翌期以降は事業年度及び金額等の変更箇所の書換えなどを行えば、容易にCSV形式データが作成できます。</p>
10	<p>「CSVファイルチェックコーナー」は、 令和2年3月対応予定</p>	<p>【手順 9 : データ送信】</p> <p>保存が完了したデータを、e-Tax ソフトに組み込んで送信してください。</p> <p>(注) 作成したCSV形式データが、留意事項等に沿って作成されているかチェックを行うツールを提供する予定です。</p>